

2022年6月2日

決済の未来フォーラム デジタル通貨分科会

# Embedded Finance (埋込型金融) の潮流

藤井 達人

Microsoft Japan / 業務執行役員

一般社団法人 Finovators Co-Founder

一般社団法人 日本ブロックチェーン協会 理事

[tatsuto.fujii@microsoft.com](mailto:tatsuto.fujii@microsoft.com)



# Disclaimer

- ・ 本セッションは一般的に流通する情報に基づき、個人的にまとめたものを広く共有することが目的です。
- ・ したがい、本セッションでの内容は個人の見解に基づくものであり、話者が所属する企業の公式見解とは一切関係ありません。



マイクロソフト創業者  
ビル・ゲイツ氏

**「銀行機能は必要だが、  
今ある銀行は必要なくなる」**  
(1994年 Intuit社への出資時)



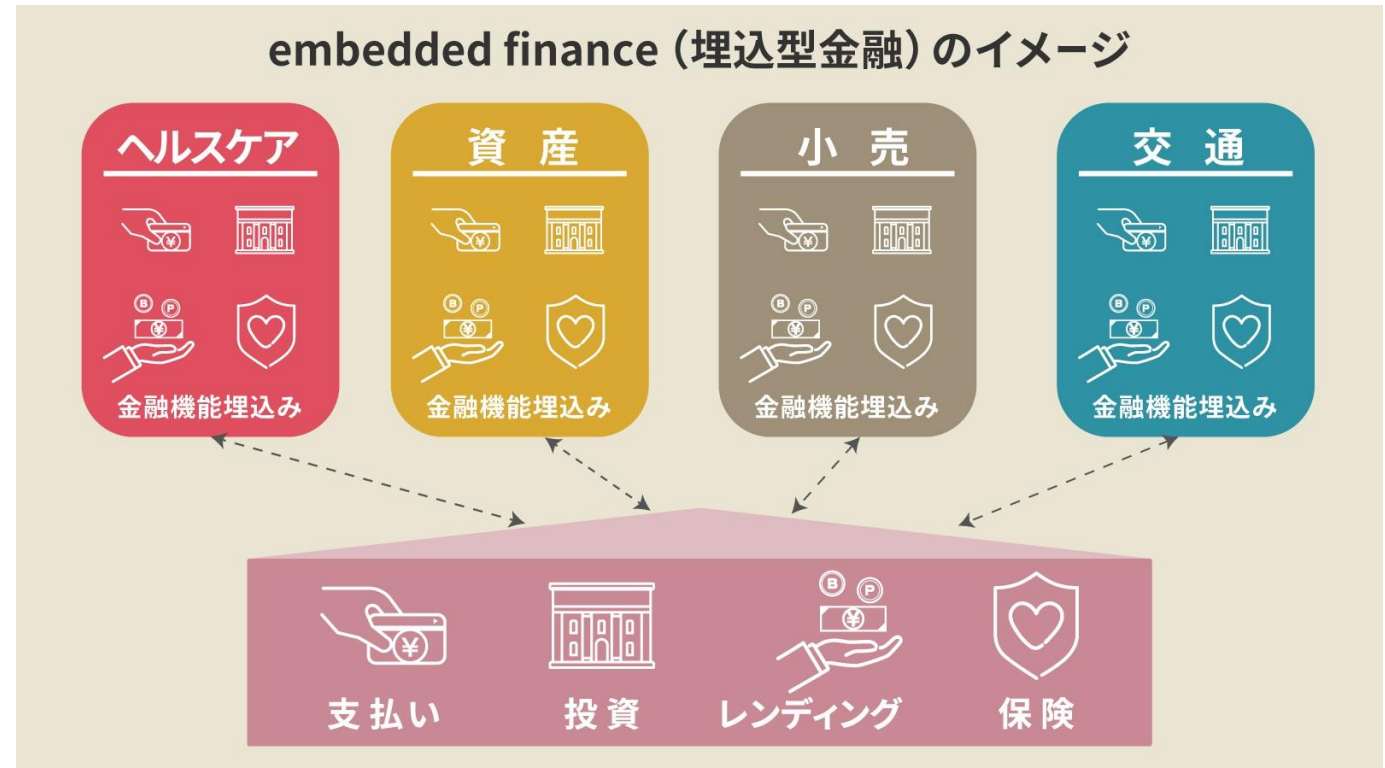
アンドリーセン・ホロウィッツ  
パートナー アンジェラ・ストレンジ氏

**「すべての企業は  
フィンテック企業になる」**  
(2020年1月21日 同社ブログにて)

# Embedded Financeとは

- ✓ 金融機能をモジュール化し、機能単位で外部企業に対して提供可能とするシステムのこと、またそれによるビジネス化のことを指す

- 典型的には、ライセンスを持つ銀行・証券会社・保険会社が機能を外部にBaaS APIとして公開・提供し、一般企業がそれを活用して非金融アプリ/ウェブサイト/プラットフォームと統合することにより、既存顧客に金融サービスを提供する形態が多くみられる
- 単独で提供するよりも、顧客の導線やコンテキストに合わせて提供することでより高いコンバージョンが見込める

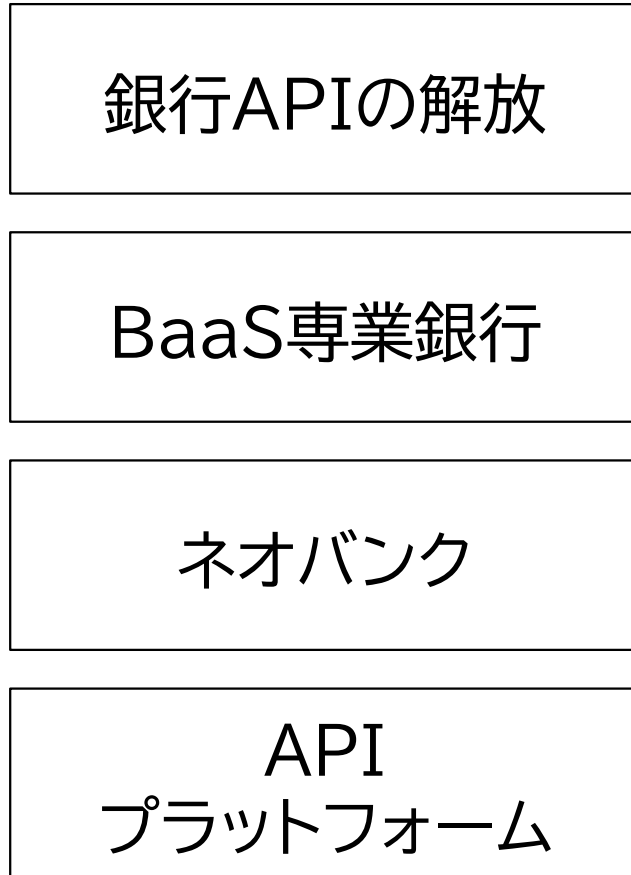


出典:「2021年注目の「埋込型金融」「自律型金融」「分散型金融」とは?フィンテック予測」  
<https://www.sbbt.jp/article/fj/49774>



# BaaSの提供からEmbedded Financeへと金融機能化が進展

2014～



2017～



2019～

あらゆる金融業態で  
Embedded Finance  
が進展



- Embedded Payment
- Embedded Lending
- Embedded Insurance
- Embedded Verification
- Embedded Anti-Fraud
- Embedded Digital ID

# 金融サービスのフロントが一般企業・テック企業へ

## Embedded Finance導入・提供のメリット

<p>ライセンスを持つ 金融機関のメリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らはBaaS等で金融機能を外部提供し、フロントはテック企業に任せてバックを担うことで販路を拡大、また顧客獲得コストも下がる</li> </ul>	
<p>Embedded Financeを 提供する企業のメリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客の金融行動データ(明細データ等)の把握</li> <li>顧客ロイヤルティの向上(NPS向上、離脱率低下、売上向上)</li> <li>低コストで金融サービスを販売</li> <li>シナリオ金融による高いコンバージョン率</li> <li>金融サービスのさらなる改善が可能</li> </ul>	
<p>ユーザーのメリット</p>	<p>一般ユーザー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつも使っているサービスと統合したユーザーインターフェースで金融サービスを利用できる(使い分ける必要がなくなる)</li> <li>低コスト(送金手数料、ATM手数料)、高い金利、など</li> </ul>
	<p>ベンチャー企業 中小企業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業向けサービスの登録と同時に銀行口座を開設できる</li> <li>売上が即時入金されキャッシュフローが改善</li> <li>売上げに基づき、与信の範囲内で迅速な資金調達が可能</li> </ul>

# Embedded Financeの提供形態例：ネオバンク

## Uber Debit Card

ドライバー向け銀行口座



Uberドライバー

## Stripe Treasury

Eコマースを開始する  
中小企業向け口座(API)

米国：Goldman Sachs, Evolve Bank & Trust  
米国外：Citi, Barclays



Shopify Balance



ベンチャー企業、中小企業

BaaSの提供者

Embedded Finance  
サービス提供者

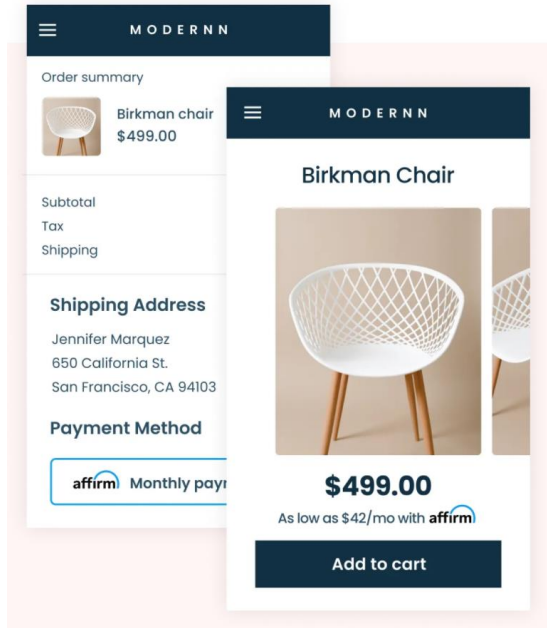
主な利用者

- ✓ 日本においても銀行代理業のスキームを活用して、リテール層向けのネオバンクサービスを提供する一般企業が増加

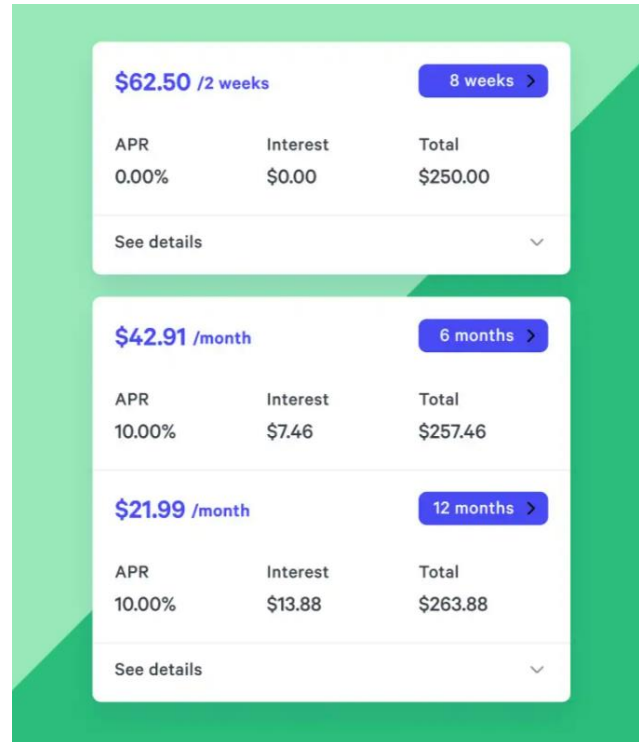
# Embedded Financeの提供形態例：後払い(BNPL)



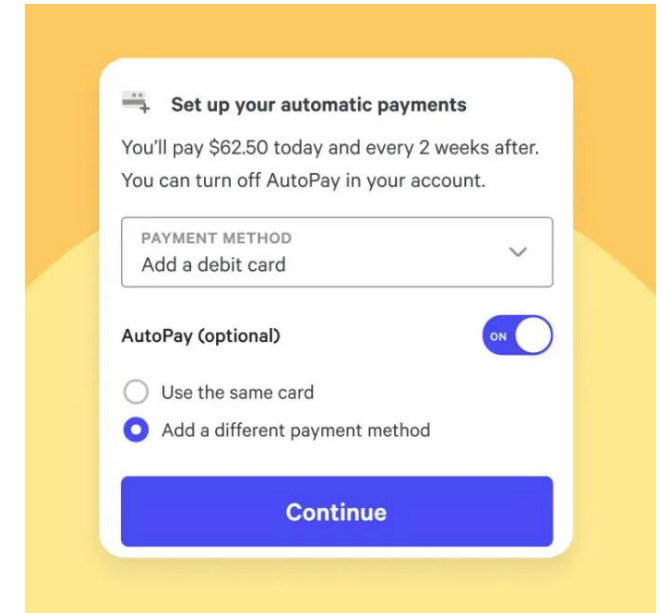
後払い導入Eコマースサイト



ユーザーは分割オプションを選択  
・4回の分割払い(手数料なし)  
・月次分割払い(手数料あり)



ユーザーは返済方法を指定



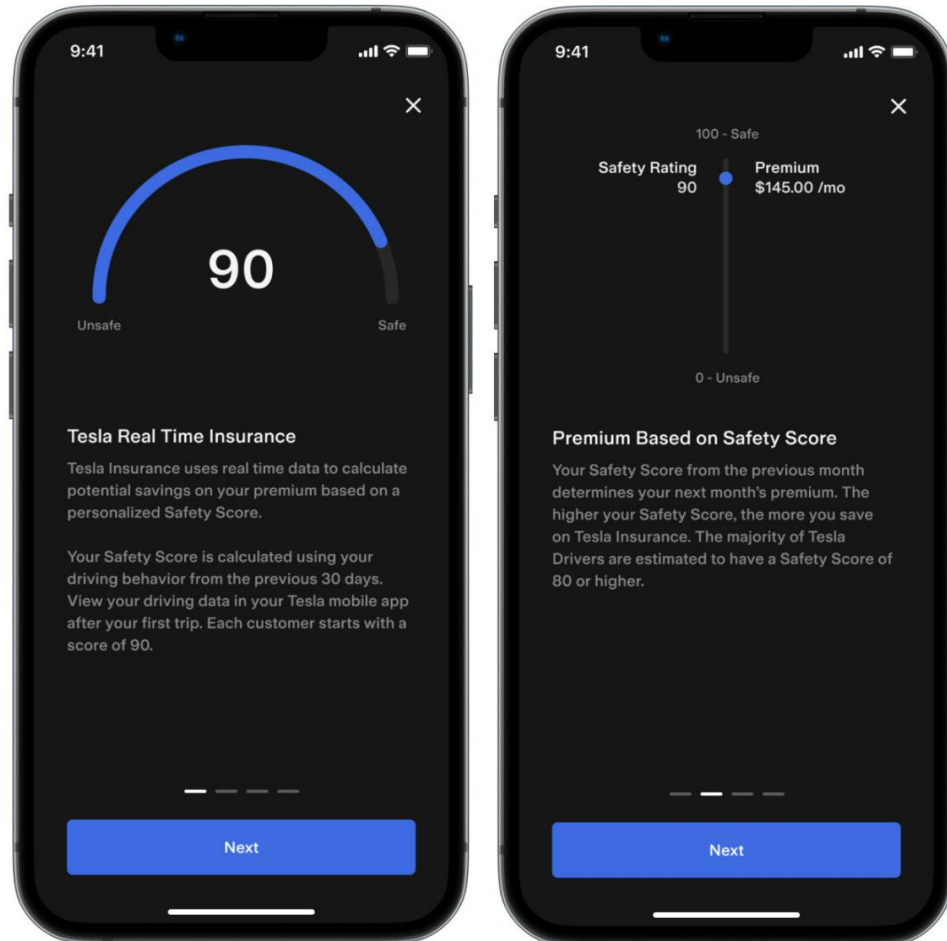
リアルタイムで与信を獲得

- ・ クレジットスコア
- ・ 銀行口座利用状況、購買状況
- ・ 携帯電話・家賃等の支払い履歴
- ・ 学歴・職歴等



# Embedded Financeの提供形態例：自動車保険

TESLA | Insurance



テスラは2019年にカリフォルニア州で  
保険事業を開始

- 運転データを利用して算出する安全スコアに基づき毎月の保険料割引を適用（保険料を最大60%節約）
- 自動車に追加デバイスの接続は不要
- テスラのモバイルアプリ、Webサイトのマイページから加入することが可能

# モジュール型金融(Modular Finance)への発展

- Embedded Financeで機能化された金融サービス(預金・為替・融資・資産運用・保険 等)を、よりアジャイルにかつレゴのように組み合わせで利用できるようにしたもの(プラグイン金融(plugin finance)とも呼ばれる)

Unit社

機能群 ⇒

口座開設

口座

デビットカード

決済

融資

## 特徴

- 口座、デビットカード、決済、融資の各機能をAPIで提供。企業はこれらのAPIを利用することで必要な機能のみを実装可能。機能についても企業側でカスタマイズが可能
- 1機能あたり1か月程度、\$50K程度で実装可能
- 不正防止、セキュリティ、コンプライアンスなどはUnit社がすべて吸収
- バックを担う銀行を複数の中から選択できる(複数銀行を同時に使うことも可)

## 利用企業側の視点からみた利点

- ✓ 最小限のコーディングで簡単に導入できて、かつプログラマブルであること
- ✓ コンプライアンスなど等についてはモジュール型金融の提供者が面倒をみて、利用企業は自社顧客サービスへの組み込みと自社サービスのバリューアップに専念できること(関心事の分離…)

# Embedded Finance 今後の発展の方向性

- ✓ BaaSの流れから始まったEmbedded Financeは、あらゆる金融サービスのカテゴリーに拡大。またリテール層向けだけでなく、今後は中小企業向け金融、農業、ヘルスケア、交通などの幅広い業態においても創造的なサービスが開発され、今後急速な拡大が見込まれる
  - ✓ 顧客UXの改善だけでなく、バックオフィス業務における業務の効率化、し  
いては企業の戦略オプションの拡大にも大きな効果を発揮する
  - ✓ 自律型金融(autonomous finance:顧客に代わって意思決定や行動を  
起こすアルゴリズム駆動型の金融サービスのこと)の進展にも寄与
- ✓ Embedded Financeは、プログラム性が重要な事、また資金移動のスムーズさが重要であるという観点から、ステーブルコインやCBDC等との相性が良いと考えられる